

東北大学フォーラム2023 in 東京



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学が目指す 未来像

2023年 7月 15日

東北大学 総長

大野 英男



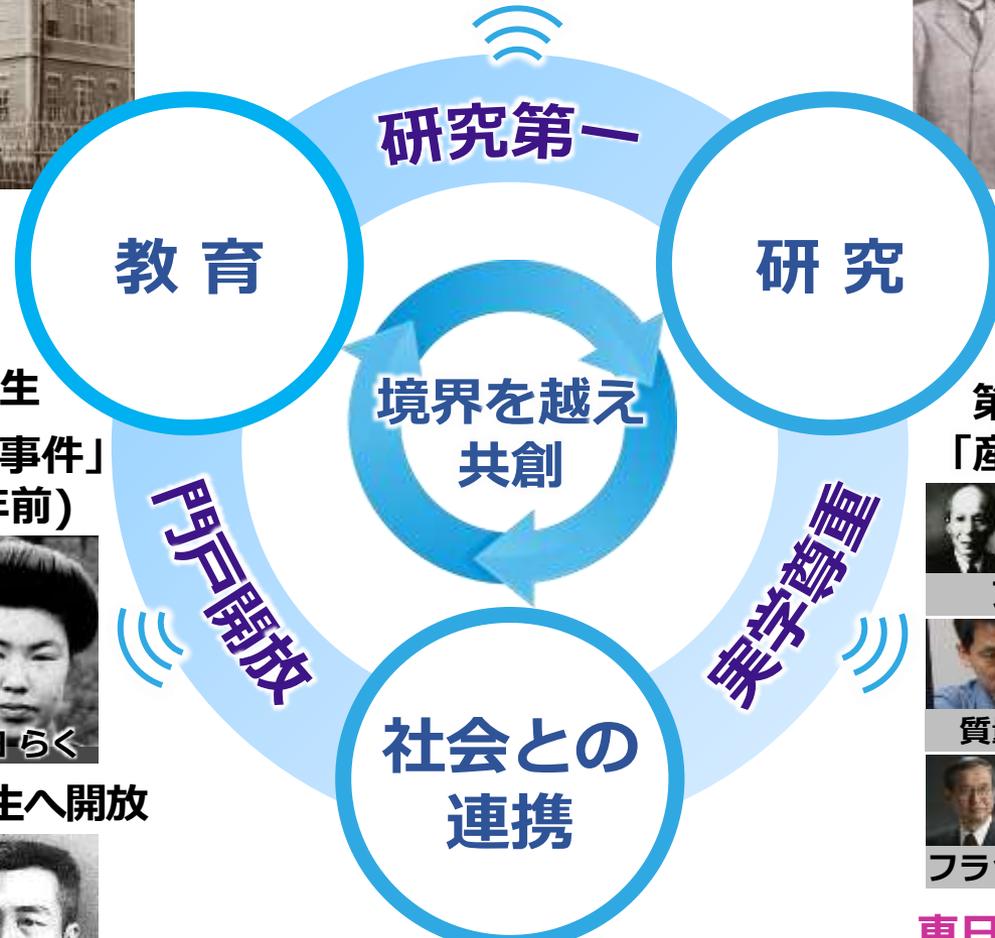
1907年 東北帝国大学の創立
三番目の帝国大学



「仙台は学術研究に最適な都市」
アインシュタイン, 1922



研究と教育は車の両輪



多様性を力に

日本初の女子大学生の誕生

「女子の帝大入学は重大事件」
文部省, 1913 (110年前)



専門学校・師範学校・留学生へ開放



社会価値を創造

第6代総長 本多光太郎
「産業は学問の道場なり」



民間および自治体等からの
寄附を受けて創設・発展

東日本大震災からの復興へ
貢献、大学の社会的使命を
構成員が強く自覚, 2011~



記念式典・記念祭を開催（10/1）

創立115周年、そして法文学部が設置され、総合大学としての歩みを始めて100年の節目として、本学の歴史を振り返る記念プログラムなどを開催



渡邊会長による来賓祝辞



「支倉宣言」を発信する大野総長とナポリ東洋大学Roberto Tottoli学長



記念プログラムの様子



国際まつりも開催（10/2）

支倉サミット（9/30）を開催

「日本学」の学術交流ネットワークである「支倉リーグ」参加の海外14か国25大学から43名を招へい。人文・社会科学の国際・学際的連携や社会貢献の方針を協議グローバル・コミュニティにおける人文・社会科学の意義と役割を「支倉宣言」として発信



意見交換の様子



「支倉宣言」を採択・発信





今年、2023年は「日本初女子大学生110周年」 日本初の女性「大学生」「大学院生」は東北大学

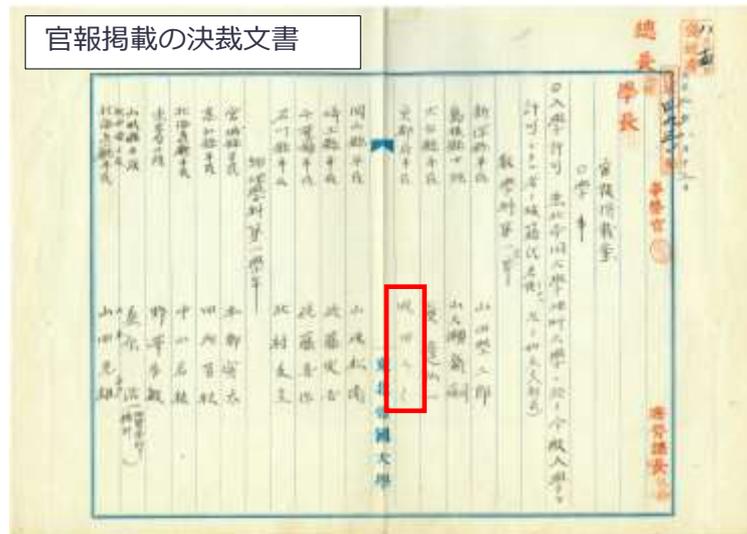
門戸開放
110年前から
ダイバーシティ

1913年 東北大学に牧田らく、黒田チカ、丹下ウメが入学。

8月21日『女子大生の日』 (3人の合格が官報公示された日。日本記念日協会登録)



牧田らく 黒田チカ 丹下ウメ



1913年8月入試の最中に文部省から手紙
「元来女子を帝国大学に入学せしめることは
前例これ無き事にてすこぶる重大なる事件」

➤ 東北大学は、3名の名前入り合格者名簿を8月13日付で
文部省に送付。本人達にも合格通知を発送

1916年 **日本初の**女性学士 (黒田チカ、牧田らく)

1918年 **日本初の**女性大学院生 (丹下ウメ)

本年9月の
ホームカミングデーは
メインテーマとして
記念事業を開催

総合大学としての東北大学

狩野文庫

古典の百科全書と言われる約108,000冊のコレクション（国宝2点を含む）



漱石文庫

夏目漱石の旧蔵書約3,000冊と、日記や手帳、原稿や文学研究のノートなどを含む、身辺自筆資料約800点から成る



3つの主要国際司法機関へ 3名の裁判官を輩出

国際司法裁判所 (ICJ)

小田 滋

- ・在任期間：1976年～2003年
- ・3期27年のICJ最長在任期間

国際海洋法裁判所 (ITLOS)

山本 草三

- ・在任期間：1996年～2005年
- ・ITLOS初代判事

国際刑事裁判所 (ICC)

尾崎 久仁子

- ・在任期間：2009年～2018年
- ・日本人2人目のICC判事



国際卓越研究大学とは

世界最高水準の研究大学にするために政府が設けた10兆円規模の「大学ファンド」で、文科省が「国際卓越研究大学」に選んだ数校を支援する制度

国際卓越研究大学に求められる要件

- 国際的に卓越した研究成果の創出（研究力）
- 実効性高く意欲的な事業・財務戦略（3%成長）
- 自律と責任あるガバナンス体制（合議体）

第3回 国際卓越研究大学の認定等に関する有識者会議（アドバイザリーボード）において、研究現場の状況等を把握するため、7月に東京大、京都大、**東北大の現地視察を行うことを決定（申請：10大学）**

※秋頃に申請された10大学の中から認定候補大学を決定・公表予定

東北大学の人材育成

- 多様な学びを支える教育プログラム、経済支援、学修支援
- 若手研究者の活躍への研究環境づくり
- THE世界大学ランキング日本版 4年連続1位



学生の「やる気、挑む心」に応える入試

東北大学第1志望者のための入試機会

- 東北大学への思いを伝える場
志願理由書、面接試験等で、第1志望を確認
- 基礎学力+ α （意欲、適性、好奇心など）を総合的に評価

学力重視のAO入試

AO入試Ⅱ期：センター試験を利用しない

AO入試Ⅲ期：センター試験を利用する

- 不合格でも一般入試で再チャレンジ可

大学での成績は、
一般入試進学者よりも
AO入試進学者の方が良い

令和3年度入試で30%を達成

AO入試をツールとして学生のポテンシャルを発掘

※令和5年度においても募集人員2,377名中751名（31.6%）がAO入試

デジタル変革時代の教育プログラム

アカデミックメタバースで世界をつなぐ国際共修

- ・ 時空を超え、多様な国籍の学生たちがメタバース空間に集う新たな授業形式を構築
- ・ 先進のVR技術を駆使した対面・オンライン併用授業で従来の対面型では到達できない学びが可能



オンライン国際共修授業を実施中の林准教授
(高度教養教育・学生支援機構)

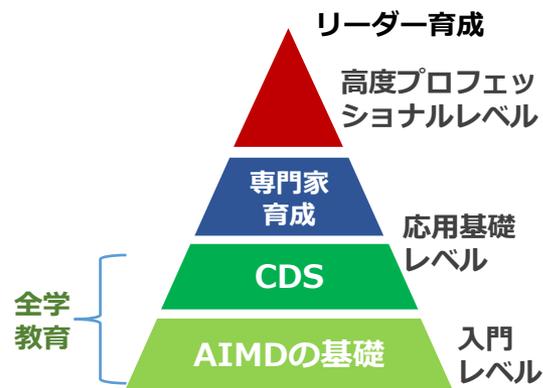
東北大学オープンバッジの発行 (2022年度～)

- ・ 全学的な教育プログラム
(総長名での修了証を発行等) の修了者を対象



AIMD教育を2020年4月から全学的に展開

- ・ 新入生全員への導入と意欲的な学生への深い学び
(挑創カレッジCDS)の二層構成



AIMDとは?
AI (人工知能) ・ 数理 ・
データ科学 (AI, Math &
Data science)の頭文字



◀ MDASHリテラシーレベル
MDASH応用基礎レベル
の双方でプラスレベル選定



TOHOKU
UNIVERSITY

博士課程後期学生の 包括的な経済支援パッケージ

～ 東北大学はドクターの学生を応援します！～

- 東北大学の博士後期課程学生約2,900名
 ➡ 全員に経済的支援・授業料は実質無料
- 学生一人当たりの支援：年平均 約180万円（社会人等を除く）

主な支援財源

- 本学独自の支援（学位プログラム、グローバル萩博士学生奨学金）
- 大学フェローシップ創設事業、次世代研究者挑戦的研究プログラム、授業料免除制度、各研究科からの支援（TA・RA雇用）、日本学術振興会特別研究員、日本学生支援機構（奨学金返還免除制度）、各種民間等奨学金など

※R4から修士課程学生にも支援対象を拡大

東北大学若手躍進イニシアティブ

若手研究者に独立研究環境を提供する

学際科学フロンティア研究所 (FRIS)

若手**50名**が
世界トップレベルの学際研究に挑戦

- 分野を限定しない国際公募
(競争率10倍以上)
- 独立した研究環境 (若手PI)
- テニュアトラック制度
- 年間最大250万円の支援
- 国際頭脳循環、共用設備

FWCI
1.64

(全国: 0.94)
※2015~2020年

TOP10%
論文割合
15%

※2015~2020年



若手研究者の活躍が際立つ大学

文科大臣表彰
若手科学者賞

14名
(全国1位)

※令和4年度受賞件数

大学フェロー
シップ創設事業

採択120件
(全国1位)

※博士後期課程学生
※令和3年度実績

創発的
研究支援事業

採択40件
(全国2位)

※令和2~3年度
採択件数

日本学術
振興会賞

5件
(全国2位)

※令和3年度受賞件数

日本学術
振興会有志賞

3名
(全国2位)

※令和3年度受賞件数

大学ランキング

THE
世界大学ランキング
日本版

第**1**位
2023年
4年連続**1**位

朝日新聞
大学ランキング

高校からの評価 総合評価

第**1**位

2006~21年の調査期間中
総合**1**位を**15**回

朝日新聞
大学ランキング

コロナ禍で優れた対応を
行っていると思う大学

第**1**位
2022年

朝日新聞
大学ランキング

入学後、生徒を
伸ばしてくれる大学

第**1**位
2024年
7年連続**1**位

多様な観点から注目される東北大学



国立大学

第**1**位
2024年

- ▶ コロナ対応が上手だった！
- ▶ 面倒見が良い！
- ▶ 改革力が高い！
- ▶ 注目する学長！

課題解決型キャンパスの創造

- 将来を見据え、課題解決に最適な社会に開かれたキャンパスを創造
- 次世代放射光計画と連動するサイエンスパークを整備中
- データを活用して社会価値を創造

キャンパスをイノベーションの場として創造



500m

土地売却収入を含む自己財源（約260億円）により、新キャンパス整備にかかる全ての費用を拠出

東北メディカルメガバンク機構



日本最大の一般住民バイオバンク（15万人）

星陵キャンパス
ライフ系

東北大学病院



80万人の臨床データ

半導体テクノロジー共創体



国内最大の半導体R&Dプラットフォーム

東京から90分

2015年開業
仙台市と連携

地下鉄

仙台駅

青葉山キャンパス
理工学系

川内キャンパス
人文社会系

片平キャンパス
本部・研究所ほか

サイエンスパーク
4万m²

青葉山新キャンパス
81万m²（東京ドーム17個分）

次世代放射光施設
NanoTerasu

附置研究所群



国際研究プラットフォーム





東北大学青葉山新キャンパス



次世代放射光施設はナノを見る巨大な顕微鏡、価値ある膨大なデータを生成

新材料やデバイスの開発、生命機能の解明、カーボンニュートラルを目指す環境科学の開拓、さらには医薬品・食品・畜産・農業・漁業等の多様な産業分野で威力を発揮



- **国際混住型学生寄宿舍「ユニバーシティ・ハウス」**の戦略的整備による国際共修の推進
- **「ユニバーシティ・ハウス青葉山」**の新営
(2018年10月入居開始、総定員752人)
 - ✓ **国内最大規模 1,720人定員**
= 日本人 921人 + 外国人 799人

国際感覚の
育成

協調性と
社交性の涵養



ユニバーシティ・ハウス青葉山

- 総定員752人（日本人376人、外国人376人）
- 自然豊かな修学環境と交通利便性
- 国際性豊かな高度教養人として成長するための各種プログラムを实践（産学連携による特別講義など）



2018年7月3日 次世代放射光施設 官民地域パートナーの決定 建設費概算総額：約380億円程度

地域 パートナー

分担約180億円

光科学イノベーションセンター



高田昌樹 理事長

- ・代表機関（民間の非営利型法人）
- ・コアリション利用の運用
- ・共用利用へのビームタイム提供



宮城県
村井嘉浩
知事



仙台市
郡和子
市長



東北大学
大野英男
総長



東北経済
連合会
増子次郎
会長

「有志連合」 民 コアリション メンバー

- 民間企業・大学・国研等の組織（参画意向：約140機関）
- ニーズ・プルによる戦略的利用
- 建設資金を拠出

官 国の主体

分担約200億円

量子科学技術
研究開発機構



小安重夫理事長

- ・加速器・共用利用の運用
- ・先端技術開発

共 共用ユーザー

- 個別研究グループ、個人研究者
- 新たなシーズ・プッシュの創出



GX・DX を加速するイノベーションエコシステムの創造

カーボンニュートラル時代のGXを牽引
革新的電池、省電力半導体、環境負荷を低減する材料、持続可能な農業など多様な研究開発

計測・計算融合のDXによる課題解決
NanoTerasu と 先端計測装置群が生成する膨大な画像データでナノ世界をデジタル化

東北大学青葉山新キャンパス

仙台駅から9分

仙台駅

地下鉄青葉山駅

次世代放射光施設
NanoTerasu
2024年本格稼働

国際放射光イノベーション・スマート研究センター
など2棟（計8,000㎡）が2023年完成予定

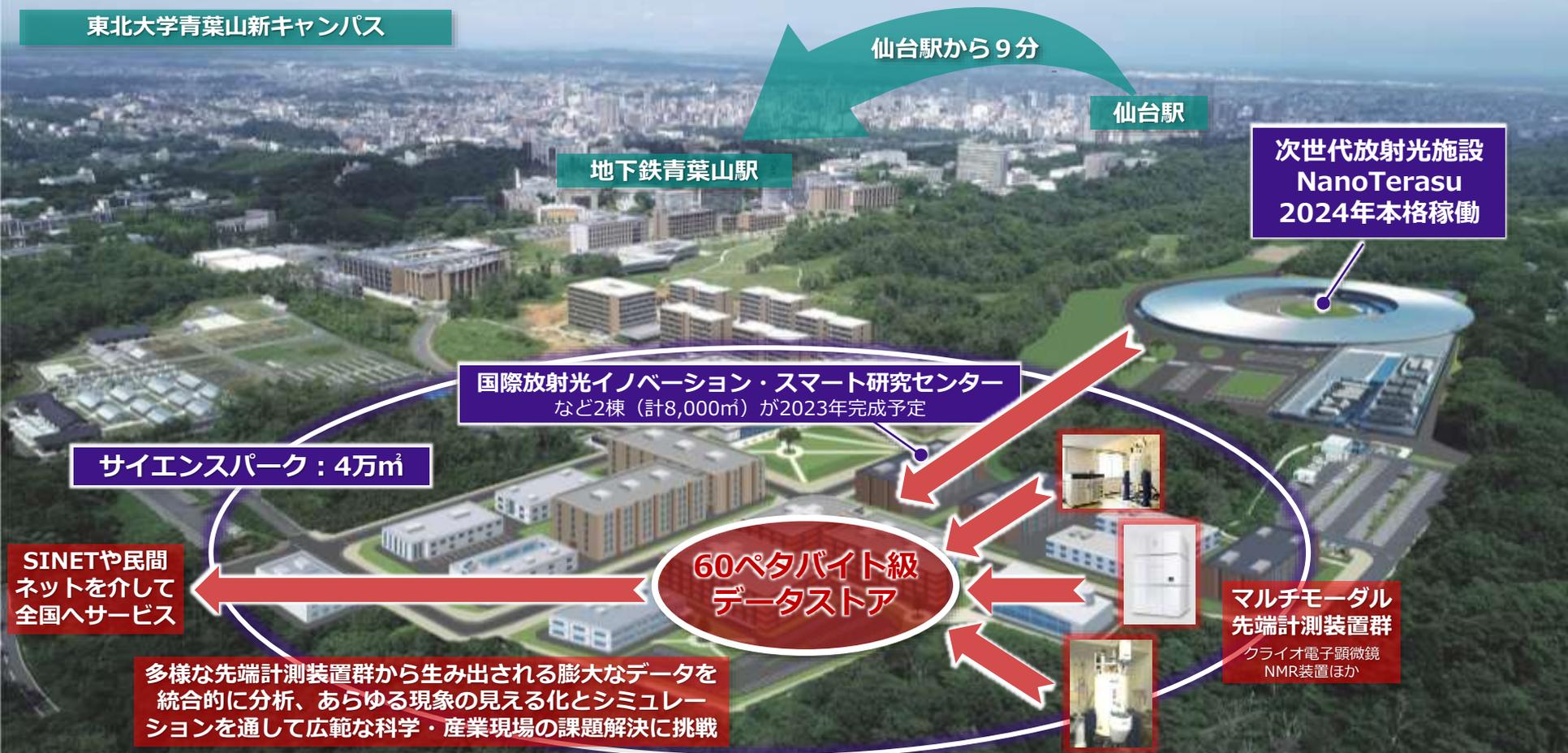
サイエンスパーク：4万㎡

SINETや民間
ネットを介して
全国へサービス

60ペタバイト級
データストア

マルチモーダル
先端計測装置群
クライオ電子顕微鏡
NMR装置ほか

多様な先端計測装置群から生み出される膨大なデータを統合的に分析、あらゆる現象の見える化とシミュレーションを通して広範な科学・産業現場の課題解決に挑戦



イノベーションエコシステムの創造

大学は技術・人材・資金の結節点

課題解決を目的として産学官金の多彩なアクターが参画



**地域産業界
自治体**



**金融機関・VC
アクセラレーター等**



国際パートナー



企業（産業現場）
参画意向：約140機関



**ICT企業
DXサービス企業**



**試験・分析企業
ものづくり企業**





技術と人財と資金をインテグレートする共創プラットフォーム

▶▶ 大学子会社が技術と人財と資金の結節点となり、事業創出にとどまらず、その先の成長・拡大促進へ



大学子会社の提供サービス



国立大学で初めて民間企業との共同出資会社「東北大学共創イニシアティブ株式会社」を設立（2023年3月文部科学省から認可を取得、2023年4月設立）



世界主要放射光施設サミット

東北大学の呼びかけで2019年より開始
世界主要20施設の所長が参画
2022年10月に第4回を開催



東北大学が主催



世界の主な放射光施設と関連大学・研究所との戦略的連携





大臣会合（2日間）

メイン会場：仙台市 秋保地区「ホテル佐勘」
「G7科学技術大臣の共同声明」を发出



2日目

エクスカーショ①

災害科学国際研究所

世界最先端の災害科学研究（次世代防災システムや災害対応ロボット等）について説明



3日目

エクスカーショ②

次世代放射光施設NanoTerasu

NanoTerasuのイノベーションエコシステム

ハイレベル会合（公式サイドイベント）

次世代放射光施設NanoTerasu

主催：東北大学、Q-STAR

共催：内閣府、文部科学省、経済産業省

「量子技術が切り拓く未来」



東北大学・Q-STAR共催シンポジウム

「共に創ってゆく～量子技術が切り拓く未来」

課題解決の決め手はデータ

- これからの科学技術および産業領域の課題解決はデータ駆動型に
 - 理工学のみならず、ライフサイエンス、人文社会科学でも同様
- 



東北メディカル・メガバンク計画

2012年2月 東北メディカル・メガバンク機構 設立
 世界初の7万人規模の三世代コホート調査
 日本最大規模の15万人地域住民・三世代コホート調査
 一般住民（前向き）コホートを基盤として未来型医療・未来型予防の創造へ

50ペタバイト級データ
 解析センターを併設



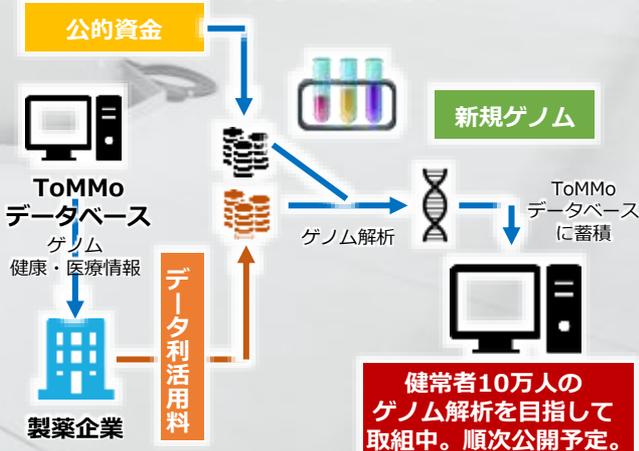
山本 雅之 機構長

日本人に最適化した簡易ゲノム解析ツール「**ジャポニカレイ®NEO**」を開発

Japonica
ArrayNEO



全ゲノム情報と医療・健康情報の統合解析 コンソーシアム





ワクチン接種

80

万回

※2023/2月末時点

東北大学での接種率

学生 88%

教職員 85%

※2021/11/4時点

ホテル往診回数

5,212

回

※2023/2月末時点

入院・ホテル調整

7.9

万人

※2023/2月末時点

ワクチン接種予約システム（職域接種向け）の独自開発

TOHOKU DX大賞 支援部門 最優秀賞（2021年11月）

日本DX大賞 支援機関部門 大賞（2022年6月）



2021年の時系列

- 5月24日 東北大学（宮城県・仙台市）ワクチン接種センターを開設し、市民を対象とした一般接種を開始
- 6月 5日 ワクチン接種予約システム開発着手（内製）
- 6月 8日 初期版システムリリース（実質3日で開発）
教職員接種予約受付（最大20件/秒）
- 6月11日 接種開始
- 6月12日 英語版システムリリース
- 6月17日 学生接種予約受付（最大36件/秒）
- 6月21日 学生接種開始
- 7月17日 近隣大学（13大学）接種開始



東北大学病院
富永 悌二 病院長（当時）

ChatGPTをこれまでの成果と組み合わせることによりDXをさらに加速する



RPA
業務時間削減見込 (年間)
102,008 時間

ChatGPT
RPAフロー
作成自動化

ノーコード・ローコード
業務アプリを内製

ChatGPT
業務アプリ
作成支援

CRM
Sansanに登録した
名刺の件数
7,743 件
※2023年4月時点

ChatGPT
イベント周知
キャッチコピー作成

導入製品

法人GAI
Powered by GPT-4

個人情報・機密情報保護について
機密情報や個人情報は取り扱わない。また、万が一にも対応可能な強固な保護機能を搭載

- ・個人情報アラート機能
- ・個人情報マスキング機能
- ・機密情報マスキング機能

業務のDX推進プロジェクト・チーム

- ・ 国立大学法人で初となる全学を対象とした多言語対応チャットボットの導入
- ・ 手続きのオンライン化や電子決裁システム化
- ・ テレワークおよびフレックスタイム制度化
- ・ これまでの成果にChatGPTを組み合わせることでDXをさらに加速
- ・ 情報科学研究科※1、デジタル教育アドバイザー・グループ※2と連携し、教育・研究に応用展開する

※1 自然言語処理学分野において、国内外の研究をリードしている。

※2 コロナ危機に際しては、オンライン授業を推進。ChatGPT等の生成AI利用に関する留意事項を策定。

半導体の復権に向けて

- 材料、デバイス、集積回路、製造プロセス、評価・分析までの半導体関連の研究開発を推進
- 半導体テクノロジーシンポジウムを開催（2022年11月28日）



約300名の半導体産業に関係者が参加

【基調講演】

- TSMC シニア・バイス・プレジデント Kevin Zhang
- キオクシアホールディングス（株）代表取締役社長 早坂 伸夫
- 日本電信電話（株）代表取締役副社長 川添 雄彦



東北大学の圧倒的な強み

- 世界トップレベルの半導体関連研究、約150名の研究者群
- 大型クリーンルーム（約8,500 m²）など比類ない研究開発リソース
- 研究施設の建設につながる業界投資の誘致

スピントロニクス省電力
ロジック半導体開発拠点



CIES



国際集積エレクトロニクス
研究開発センター 遠藤哲郎教授



スピントロニクス省電力ロジック半導体、
次世代型メモリ MRAM

半導体製造プロセス・部素材・
イメージセンサ開発実証拠点



NICHe



未来科学技術
共同研究センター 須川成利教授



半導体製造プロセス、超高性能イメージセンサ

MEMS設計・プロセス開発
実証拠点



μSIC



マイクロシステム融合
研究開発センター 戸津健太郎教授



MEMS技術



日米大学パートナーシップ 「UPWARDS for the Future」覚書の締結

2023年5月21日（日）G7広島サミット最終日
「半導体の人材育成と研究開発に関する未来に向けた日米大学間パートナーシップ（UPWARDS for the Future）」覚書の署名式が開催



photos by U.S. Embassy Tokyo

バイデン大統領との面会

日米大学パートナーシップ「UPWARDS for the Future」覚書の署名式後に、
ジョー・バイデン米国大統領と関係者との面会の機会も設定



photos by White House, U.S. Government



photos by White House, U.S. Government

大学に企業の活動拠点を設置

- 2021年より「共創研究所」の制度をスタート、現在17拠点を超えて急増中
- 従来型の個別共同研究とは一線を画し、自由な発想で動かせる企業の活動拠点をキャンパスに設置できる制度

共創研究所 一覧 (現在17拠点)

2021年10月
愛知製鋼×東北大学
次世代電動アクスル用素材・プロセス共創研究所
AICHI STEEL
つくろふ、未来を。
つくろふ、未来を。

2021年10月
ブリヂストン×
東北大学 共創ラボ

BRIDGESTONE

2021年11月
東北電力×
東北大学 共創研究所
より、そう、ちから。
 **東北電力**

2022年2月
JFEスチール×東北大学
グリーンスチール共創研究所
 **JFE スチール 株式会社**

2022年3月
東北発電工業×
東北大学共創研究所

 **東北発電工業株式会社**

2022年4月
トヨタ自動車東日本×
東北大学環境融和ものづくり共創研究所

 **トヨタ自動車東日本**

2022年4月
DOWA×
東北大学共創研究所

DOWA

2022年4月
ピクシーダストテクノロジーズ
×東北大学 ホログラフィック
ウェルビーイング共創研究所

 **Pixie Dust Technologies, Inc.**

2022年7月
大同特殊鋼×
東北大学 共創研究所

 **大同特殊鋼**

2022年9月
IHI×東北大学
アンモニアバリューチェーン共創研究所

IHI

2022年10月
TDK×東北大学 再生可能エネ
ルギー 変換デバイス・材料開発
共創研究所

 **TDK**

2022年10月
富士通×東北大学
発見知能共創研究所

FUJITSU

2022年10月
住友金属鉱山×東北大学
GX材料科学共創研究所

 **住友金属鉱山**

2023年3月
アルプスアルパイン×東北大学
つながる価値共創研究所

ALPSALPINE
Perfecting the Art of Electronics

2023年4月
デクセリアルズ×東北大学
光メタセンシング共創研究所

Dexerials

2023年4月
古河電気工業×東北大学
フォトニクス融合共創拠点

古河電工

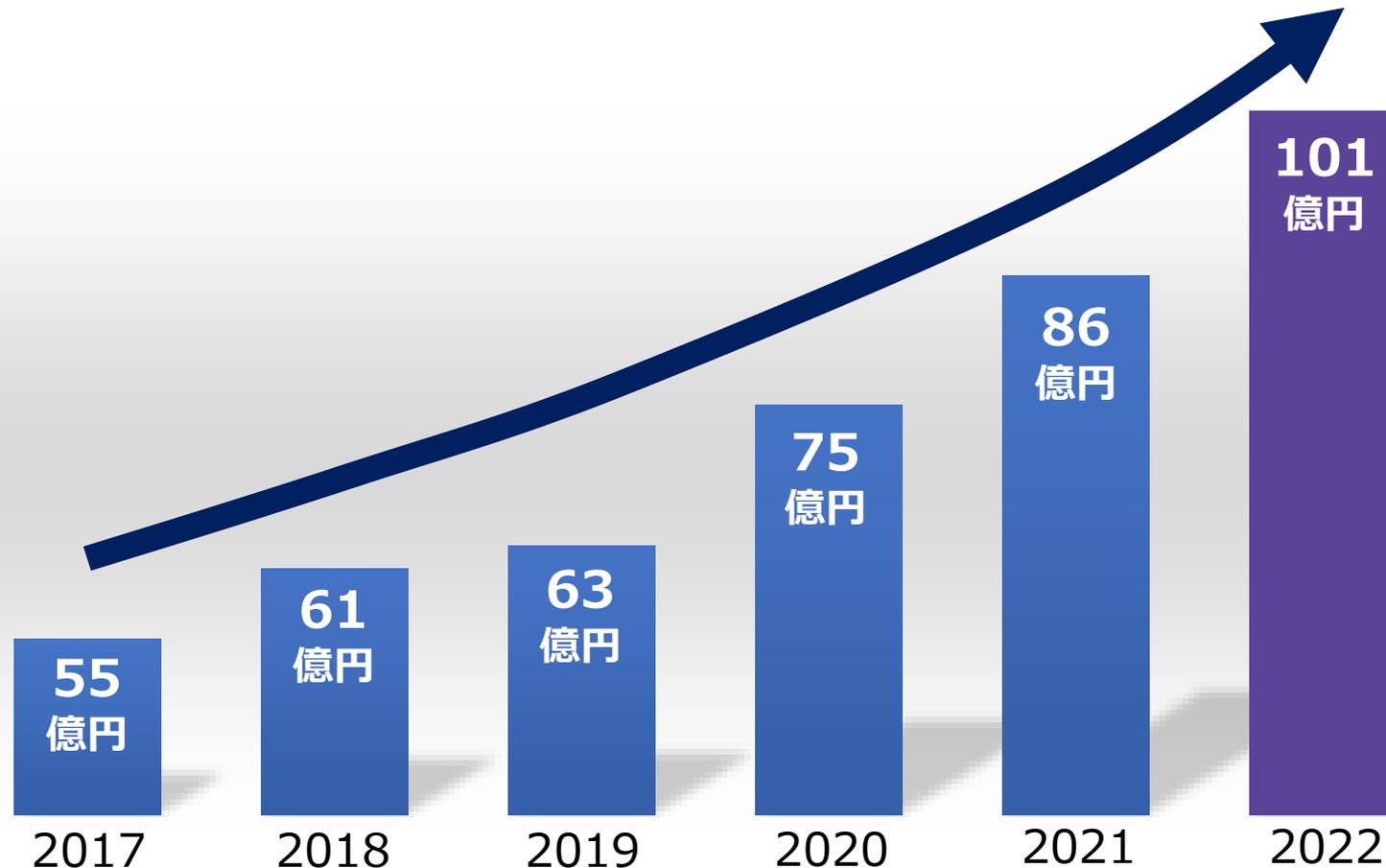
2023年4月
3DC×東北大学
カーボン新素材GMSで「世界を
変える」共創研究ラボ

3DC



急成長する産学共創

共創研究所制度の創設等の様々な取組により
民間企業等からの研究資金等受入額は急伸長



民間からの共同研究・受託研究・受託事業等の総額

加速する東北大学発スタートアップ

- 東北大学スタートアップ・ユニバーシティ宣言（2020年10月）
- 社会変革の原動力となるスタートアップの創出とアントレプレナーシップ育成を加速

東北大学VCおよびスタートアップの活躍

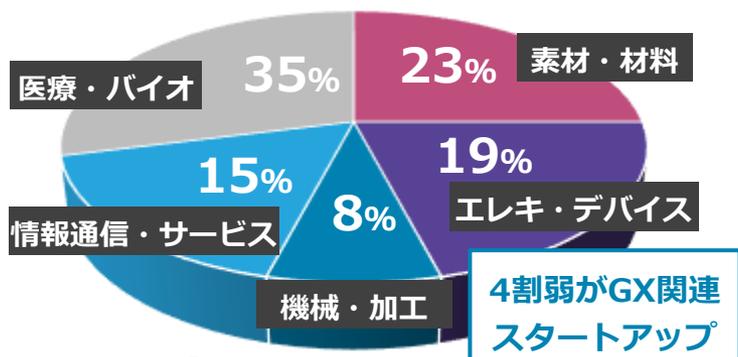
全国トップクラスの創出数

東北大学発
ベンチャー企業数
179社

※令和4年度学内調査
速報値

東北大学ベンチャーパートナーズ(株)

- 1号ファンド
2015年8月組成 96.8億円：26社投資



東北地方で登記されている企業数 17社

- 2号ファンド
2020年10月組成 78億円：12社投資

国内未上場スタートアップ

上位20社のうち1社が東北大学発

- ▶ クリーンプラネット
新水素エネルギー実用化研究
想定時価総額8位（ユニコーン）

出典：STARTUPDB
(2023.1.18時点)

最近のIPO・M&A実績例

IPO実績5件

- ▶ 2020年12月28日東証マザーズ上場
「クリングルファーマ株式会社」
- ▶ 2021年9月24日東証マザーズ上場
「株式会社レナサイエンス」
- ▶ 2021年12月24日東証マザーズ上場
「サスメド株式会社」
- ▶ 2022年11月22日東証グロース上場
「株式会社ティムス」
- ▶ 2023年4月12日東証グロース上場
「株式会社ispace」

M&A実績の例

- ▶ 2020年11月16日
「株式会社フォトニックラティス」
- ▶ 2023年1月31日
「株式会社スーパーナノデザイン」



(株) ElevationSpace 代表取締役 小林稜平

- 東北大学にて建築学と宇宙工学を専攻
2022年3月に修士（工学）を取得。2021年2月に起業
- 2030年代に軌道上に「宇宙ホテル」建設を目指す
- 小型宇宙利用・回収プラットフォーム ELS-Rを開発
- 大学在学中に、宇宙建築において日本1位、世界2位を獲得
Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2022 選出



代表取締役 小林稜平



東日本大震災から10年

東北から宇宙へ

東北の民間企業初となる人工衛星に
名産品を載せて飛ばしたい！





輝翠TECH（株）創設者兼CEO ブルーム・タミル

- 東北大学にて航空宇宙工学を学んだ宇宙ロボットの専門家
- 高齢化の進む農家を支えたいという思いから、収穫時の重労働を軽減するりんご農園で役立つロボットを開発中
- MIT Innovators Under 35 Japan 2022 選出



（左）ブルーム・タミル 輝翠TECH(株)創設者兼CEO



学生団体ルリヲ 小林雅幸 代表 (東北大学工学部 機械知能・航空工学科4年)

- 福島県双葉町を中心とした若者向けツアー「パレットキャンプ福島」を企画・運営
- 震災や原発事故ではない切り口で町との関係性を築きながら、ツアー参加者とともに持続可能なコミュニティづくりに参画



19カ国から120名が参加



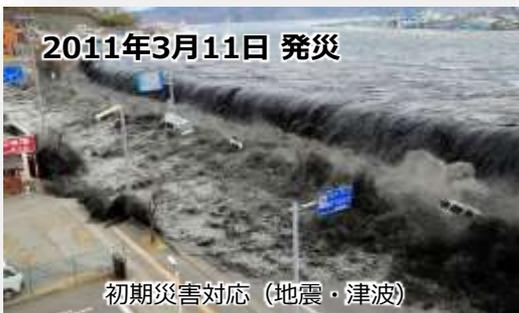
震災復興を原点に災害科学の確立へ

東日本大震災からの復興で培った知見を活かし、BOSAI概念を世界に普及



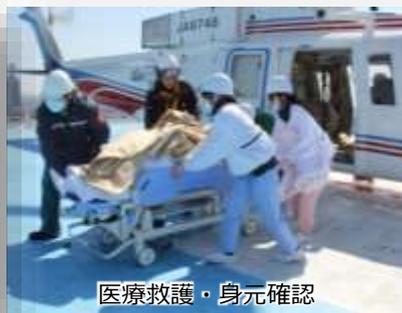


発災直後



2011年3月11日 発災

初期災害対応 (地震・津波)



医療救護・身元確認



被災者支援



原子炉建屋に災害ロボットを投入

復旧



震災子ども支援室 (S-チル)



宮城県子どもの被ばく線量調査



臨床宗教師養成プログラムの開発と社会実装



学生ボランティア活動



放射能汚染地域に住む子どものエンカレッジプロジェクト



三春「実生」プロジェクト:草の根放射線モニター



海と田んぼからグリーン復興プロジェクト



被災地域の教職員へのサイコロジカル・エイド



震災復興のための遺跡探査



震災遺構3次元クラウドデータアーカイブ



伝統の絶滅危機にある継承者支援法の開発

復興



国際連携研究・アウトリーチ



マリンサイエンス 海洋生態系研究



再生可能エネルギー 環境エネルギー



耐災害ICT研究



東北メディカル・メガバンク 地域医療再構築



事故炉廃止措置研究・人材育成



地域産業復興支援



産学連携による復興推進



今村 文彦

世界トップレベル研究拠点長



栗山 進一 所長

「災害科学」を文理融合で開拓

2012年4月

災害科学国際研究所 (IRIDeS) の設置

復旧・復興

地域再生・耐災害性の向上のための各種技術開発と国際戦略策定



新たな防災・減災社会のデザインと災害教訓の語り継ぎ

救急医学・医療

広域巨大災害に対応できる災害医学・医療の確立など



- 「災害科学」を総合知に基づくディシプリンとして確立
- 世界の“BOSAI”に貢献

防災・減災のソフト対策

文理融合 7部門37分野



さまざまな自然災害発生メカニズムの解明

緊急対応

災害への対応を織り込んだ社会システムの構築



防災・減災のハード対策



防災・減災のためのリモートセンシング技術、シミュレーション技術などの開発

【発災から復興まで】

災害の発生



総合的な災害リスク管理

※発足当時

【事前の備え】

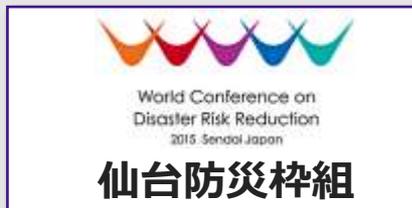


2011.03
2011.04
2012.04
2015.03
2015.07

● 東日本大震災
● 復興アクション開始
● 災害科学国際研究所 (IRIDeS) の設置
● 第3回国連防災世界会議@仙台
● 「社会にインパクトある研究」開始



2015年制定 国際社会の三大アジェンダ



2017.11
2019.11
2021.04
2023.03
2023.05

● 第1回世界防災フォーラム@仙台
● 第2回世界防災フォーラム@仙台
● グリーン未来創造機構の設置
● 国際社会の三大アジェンダに貢献
● 第3回世界防災フォーラム@仙台
● 仙台防災枠組中間評価へ提言
● 国連ハイレベル会合@ニューヨーク
● 「災害を管理する」から「災害リスクを理解して管理する」へシフト



↑
里見総長
2012~17年
復興と新生

↓
大野総長
2018年~
共創の再起動

最近のトピックス

- **学生の輝き**





鳥人間コンテスト2022 **優勝**

Windnauts (人力飛行部)

【人カプロペラ機ディスタンス部門】
飛行距離：
36868.8mでチーム記録を更新し優勝



大学ダンスサークル決定戦：**優勝** Japan Dancers'

Championship 2023 ストリートダンスサークルWHO

総勢約2000名の大学生が出場。
関東以外の大学での優勝は初。



U-21日本代表選手

としてセパタクロー第36回世界選手 権大会 (タイ国王杯) 出場決定

セパタクローサークル：
横田 涼さん (工学部4年)





七大戦

- 「七大戦」は、北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九学の七つの大学間で行われる体育大会。
- 第1回目は1962年（昭和37年）の北海道。
- 主管は持ち回り、各大学体育会が中心となって運営。
- 参加人数は8,000を超え、学生が主体となって行われるものとしては日本最大級。40を超える競技種目ごとに順位をつけ、総合得点で競い合う。

大会	主管校	優勝校
第56回	名古屋大学	 東北大学
第57回	北海道大学	 東北大学
第58回	九州大学	 東北大学
第59回	大阪大学	コロナで中止
第60回	京都大学	コロナで中止
第61回	東北大学	 東北大学

現在、前人未到の**4連覇中**！

今回は、**5連覇**を目指す！

皆さん、是非、学生を応援してやってください！！！！





**東北大学は、
皆様のご支援をいただきつつ、
創造と変革を先導していきます。**

**東北大学とともに、
未来社会を共創していきませんか。**

第22代 東北大学
総長 **大野 英男**

